

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 4 月 28 日 (2016.4.28)

【公開番号】特開 2014-176544 (P2014-176544A)
 【公開日】平成 26 年 9 月 25 日 (2014.9.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-052
 【出願番号】特願 2013-53229 (P2013-53229)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/00

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 3 月 10 日 (2016.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 8】

次に、処理部 130 は、輝度の分散 $Lvar(bz)$ が所定のしきい値 $Lvar_th$ より大きいか否かを判断する（ステップ S23）。所定のしきい値 $Lvar_th$ は、例えば B モード画像において超音波測定用シート 200 に対応する部分の輝度の分散より大きく、被検体に対応する部分の輝度の分散より小さい値である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 4】

処理部 130 による超音波プローブ 300 の傾き情報の取得処理は、上述した第 1、第 2 の構成例と同じであるから、ここでは詳細な説明を省略する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 3】

処理部 130 によるコード情報解析処理のフローについては、図 17 に示したものと同じであるから、ここでは詳細な説明を省略する。また、処理部 130 による超音波プローブ 300 の傾き情報の取得処理は、上述した第 1、第 2 の構成例と同じであるから、ここでは詳細な説明を省略する。